

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	2.子育て・子育て支援と教育学習環境の充実				
分野別方針	(6)教育内容の向上		実施計画事業	1) 特色ある学校教育推進事業(No.18)				
予算等事業名	二宮小学校教育振興経費							
目的	教科書・指導書・備品等を購入し、生徒の教育効果の向上につとめる。							
内容	児童の教育効果向上につながる消耗品や図書、備品等を購入する。							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか							
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由							

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか							
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由							

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績					
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					0
前期(27年度)目標値					【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	児童生徒の教育効果の向上。	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,748	2,611				
財源内訳	一般財源	2,748	2,611				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の持ち味であると思われる。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については、二宮町の持ち味であると思われる。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入より、家庭の経済的負担を軽減している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する備品等は、限りある予算の中である程度整備している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 児童生徒の学習に関する公費投入については二宮町の特徴であると思われるが、限られた予算の中でどのように本事業を継続していくか検討が必要と考えられる。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)		

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	有効な教材の確保は、授業の精度にもつながる。授業に直結する予算であるため、限られた予算のであるが、算定方法を精査するなどして、できるだけ効果のあるものになりたい。		
今後の方向性	見直し、継続。		